



NEW
μ-one
HA IMPLANT
Sタイプ Lタイプ

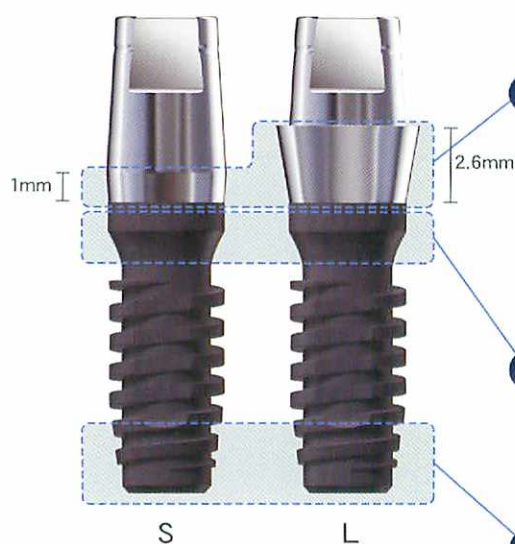
ミュワンHAインプラント 歯科用骨内インプラント材 高度管理医療機器
ハイドロキシアパタイト薄膜コーティング チタンインプラント <医療機器承認番号: 22100BZX00050000>

ムーワンHAインプラントの特徴

シンプルな1回法1ピースインプラントです。

新形態 Sタイプ Lタイプ

これまで以上に適応症が拡大されます。



カラー部の長さの異なる
Sタイプ(1mm)、Lタイプ(2.6mm)を選択可能。

Sタイプ・臼歯部だけでなく、前歯部にも幅広く適応します。
・埋入深度の調整が可能です。

Lタイプ・歯肉の厚い部位、骨質の悪い上顎等での沈下防止を
考慮した形態です。
・歯冠を製作し易い上、より大きな歯冠幅径で鼓形空隙
を目立たなくします。

フィクスチャーネック部にテーパー(45°)を付与。

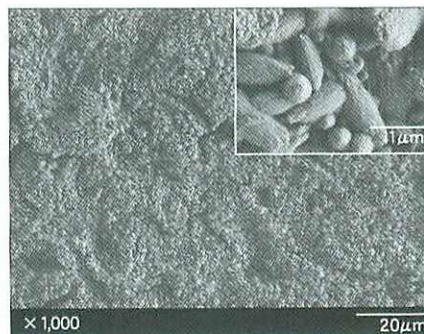
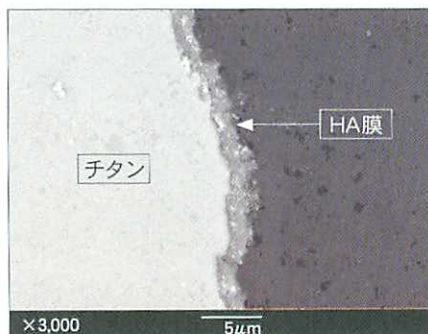
・皮質骨の干渉を軽減し骨内に埋入し易くなっています。
・ネック部への応力集中を緩和し、破折リスクを軽減します。

フィクスチャー先端部にテーパー(7.2°)を付与。

・骨孔内に埋入し易くなっています。
・小さい骨孔でも埋入でき、より強い初期固定が得られます。

薄膜HAコーティング

フィクスチャー部にハイドロキシアパタイト微結晶を薄膜コーティング

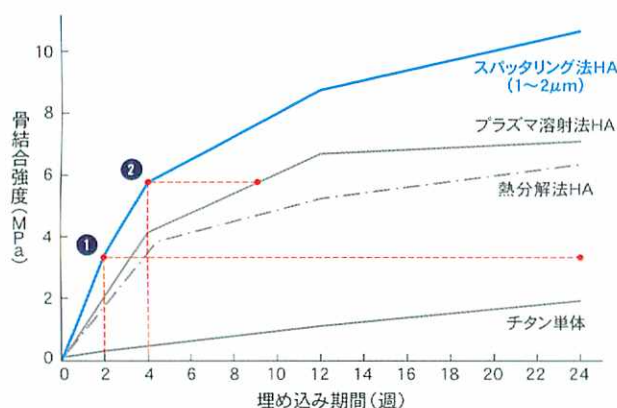


ハイドロキシアパタイト(HA)微結晶が、
Sputtering Technologyにより均一
で緻密な1~2μmの薄膜でチタン表面
に強固にコーティングされています。
骨孔への埋入時、埋入後にコーティング
が剥れるリスクを大幅に軽減します。

Sタイプ Lタイプ ミューワンHAインプラント

早い骨形成

速やかにバイオインテグレーションを獲得します。



① プラストしたチタン単体と比較し、

Sputtering Technology でHAをコーティングした場合は、埋め込み後2週でチタン単体の埋め込み後24週以上に相当する骨結合強度を示します。

② プラズマ溶射法によるHAコーティングと比較しても、埋め込み後4週でプラズマ溶射法の埋め込み後9週に相当する高い骨結合強度を示します。

〈引用文献〉

・奥山定明、佐藤勉、青木秀希、白川正順：日本顎顔面インプラント学会誌 Vol.5, No1(2006)9-19
・K. Ozeki, A. Mishima, T. Yuhta, Y. Fukui and H. Aoki: Bio-Medical Materials and Engineering, 13 (2003) 451-463
・Ukegawa, Y., Furuya, K., Hasegawa, S., Fushimi, M., Aoki, H: Bioceramics, Vol. 2, pp. 227-234.

Sputtering Technology 当社開発のHA薄膜コーティング技術です。

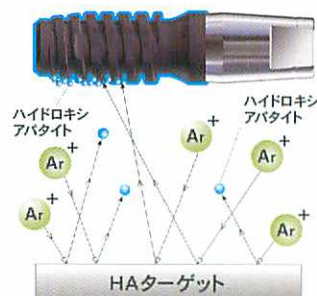
原理

真空中でアルゴンイオンをHAターゲットに衝突させ、HAの原子或いは分子を叩き出すことで基材であるフィクスチャー部にHAを成膜します。
これにより、緻密で均一な厚さ1~2μmのHA薄膜が得られます。

メリット

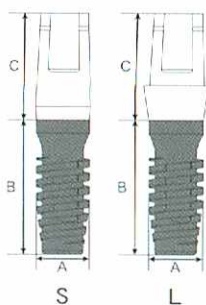
- ・HA層の破壊や剥離による骨吸収の心配が軽減されます。
- ・バイオインテグレーションが速やかに獲得されたのち自家骨と徐々に置換されます。

コーティング模式図



種類とサイズ

Sタイプ 36種類



A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
S33	10	06	10	08	06	10	08	06	10	08	06
		08			08			08			08
		10			10			10			10
		06			06			06			06
	12	08		12	08		12	08		12	08
		10			10			10			10
		06			06			06			06
		08			08			08			08
	10	06		10	06		10	06		10	06
		08			08			08			08
		10			10			10			10
		06			06			06			06

Lタイプ 27種類

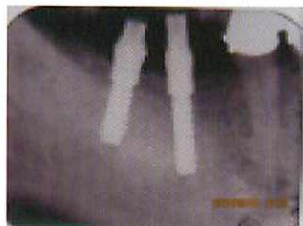
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
L37	10	06	10	08	06	10	08	06	10	08	06
		08			08			08			08
		10			10			10			10
		06			06			06			06
	12	08		12	08		12	08		12	08
		10			10			10			10
		06			06			06			06
		08			08			08			08
	10	06		10	06		10	06		10	06
		08			08			08			08
		10			10			10			10
		06			06			06			06

(単位:mm)

ムーワンHAインプラントの臨床例

東京医科歯科大学及び北海道医療大学における臨床試験(治験)により有効性・安全性が確認されています。
有効性につきましては、埋入後の動揺度の測定からチタン単体の場合と比較して比較的早期の骨結合が示唆され、
また長期に亘る骨吸収量も少なく、薄膜HAコーティングの性能が発現されたことが認められています。

54歳 女性 下顎右側6, 7 埋入後5年間経過した症例



埋入直後



埋入1年後



埋入3年後



埋入5年後

骨の吸収・添加量およびペリオテストによる評価

経過年数	1年後	2年後	3年後	4年後
骨の吸収・ 添加量の 平均値(SD)	-0.47mm (0.64)	-0.22mm (0.61)	-0.49mm (0.75)	-0.04mm (0.34)

計測時期	埋入直後	1ヶ月後	2ヶ月後	6ヶ月後	1年後	3年後
ペリオ テスト値	-1	0	-2	-2	-2	-2

(資料提出:北海道医療大学 インプラント歯科外来 越智守生先生)

関連商品のご紹介

スキャニングレジン [粉・液タイプ]



X線不透過性即時重合レジン

- X線造影性がエナメル質と同等です。
- X線撮影時にインプラント上部構造の設計が容易です。
- 造影させたい形態の付与が自由に行えます。

医療機器届出番号 23B1X10001A58001
歯科インプラント補綴用器具 一般医療機器

スキャニングティース [歯型タイプ]



X線不透過性診断用人工歯ステント

- X線造影性がエナメル質と同等です。
- 天然歯の大きさを再現しています。
- 歯型タイプなので作業時間が短縮出来ます。
- インプラント治療の診断、設計等に利用出来、最終補綴物の想定が出来ます。

医療機器届出番号 23B1X10001A58013
歯科インプラント補綴用器具 一般医療機器

エクサージ



インプラント用人工骨模型

- 粘膜層に「濡れ」を有することで外科手術の感覚が養われます。また、切削時や埋入時の骨質や骨の構造が生体と酷似しておりこの模型の大きな特徴です。材料には高分子材料のPVA(ポリビニールアルコール)を用いています。これは生体に近い感触・質感を備える外科手術シミュレーションモデルです。